

1. 背景とねらい

このところゆり類の市場人気が非常に高く、その栽培条件は冷涼な気候に適しているため、今後本県でも栽培が増加すると考えられる。ゆりは、国内外で品種開発が盛んであり、また輸入品種も多いことから毎年多くの品種が発表され、その種類はかなりの数に上っている。そこで、これまで当場で収集した品種について特性調査を行い、結果を取りまとめたので、品種選定の参考に供する。

2. 技術の内容

1) 品種特性

区分	品種名	花色 <sup>1)</sup>	開花 <sup>2)</sup> 期	草 <sup>3)</sup> 丈	花 <sup>4)</sup> 数	花弁の斑点	茎の強さ	耐病 <sup>5)</sup> 性	抑制 <sup>6)</sup> 栽培	市 <sup>7)</sup> 場性
スカシユリ系交配種	コリナ	濃橙赤	6下	中	多	中	強	中弱	△	△
	改良インチャントメント	鮮橙	6下	中	中	中多	強	中弱	△	△
	越路紅	鮮橙赤	7上	中	少	微少	強	中弱	△	△
	レットファイヤーキング	濃赤	7上	高	少	少	強	中弱	○	○
	紅の舞	鮮橙赤	7上	高	少	中	強	中弱	○	○
	コネカットキング	鮮黄	6下	中	多	無	中	中弱	△	◎
	サマーキング	鮮黄	7中	低	少	無	強	中弱	△	○～△
	サマーフェスティバル	鮮黄	7中	中	中	無微少	強	中弱	△	○～△
	ローマ	淡緑黄	6下	中	少	少	強	中弱	-	○
リタルHB	ピンクパール	鮮紫ピンク	7上	低	少	多	弱	中	△	○～△
	ル・ラブ	鮮紫ピンク	7上	中	中	中	強	中～強	○	◎
	スターゲイザー	濃赤	7下	中	中	中多	強	中	○	◎～○
	カブラソカ	黄白	7下	中	少	無	弱	中～強	○	◎
カリ	内田かのこ	明赤	8中	高	中	多	強	強	○	△～○
	布施の里	明紫赤	8中	高	中	多	強	強	○	△～○
	白かのこ	黄白	8上	高	中	無	中	中～強	○	△～○

注) 1): 日本園芸植物標準色票による表現。

2)～4): 自然開花期における性状

3): 高: 80cm～, 中: 60～80cm, 低: ～60cm

4): 多: 8.0個～, 中: 4.1～7.9個, 少: ～4.0個

5): 葉枯病に対するもの

6): 抑制栽培への適応性。試験データ及び各地の情報より判断した。

○: 適する, △: 高温期の定植は不適, -: 未確認

7)：平成元年12月、関東3市場（青山生花、浦和園芸、大森園芸）からの  
聞取り調査による。

◎：特に人気高い、○：人気高い、△：並

## 2) 適応地域 県内全域

### 3. 指導上の留意事項

- (1) 草丈、花数は大球の使用により向上させることができるが、場合により過剰なことがあるので、品種、定植時期により適正なサイズの球根を用いる。スカシユリの場合、季咲き栽培では 800~1200球/箱サイズ、抑制栽培では 600球/箱サイズ以上のものを使うようにする。
- (2) 葉焼症（チップバーン）は水分収支のアンバランスによる生理障害であるが、品種により発生程度が異なる。表中で発生しやすいのはスターゲイザー、コネチカットキングである。対策は、①大きすぎる球根を用いない ②植え付け後灌水を充分に行い乾燥しないようにする ③高温期は寒冷紗などで遮光する、などである。
- (3) 露地栽培での定植時期の目安は、品種、地域により多少差があるがおよそ次の通りである。
  - ①季咲き：10月中旬~12月上旬（共通）
  - ②抑制：6月中旬~8月中旬（スカシユリ系）  
5月上旬~下旬（オリエンタル系、カノコユリ）
- (4) 抑制栽培では、当面は定植時期に合わせて業者から球根を購入する。貯蔵は、湿らせたオガクズ等をパッキングとし、1℃で1カ月程度予冷した後、-2℃の冷蔵庫に入れて行うが、庫内の温度変化が大きい場合障害を受けることがあるので、できるだけ精度の高い冷蔵庫を使用する。
- (5) 一品種の採花期間は1週間程度と短いので、過剰な作付を避ける。
- (6) ゆり類は球根価格が高いため、増殖と切花の体系を整えるのが望ましい。増殖は、りん片による方法を基本とし、珠芽、木子の着生するものはそれらも利用する。スカシユリ系品種はりん片から1~2年で切花球となるが、オリエンタル系は3年以上かかるので、計画的に購入、切花、増殖を行う。
- (7) ゆり類は年々優れた品種が発表されており、人気品種も変わるので、品種選定にあたっては十分な検討を要する。花卉の斑点がなく、鮮明な明るい花色の品種が好まれる傾向である。品質は花数が多く、草丈が充分あり、ボリューム感のあるものがよい。

### 4. 当該事項にかかる試験研究課題名

スカシユリ球根の雪中貯蔵による抑制栽培（山村地域活性化営農試験地）

### 5. 試験成績の概要 省略